

# 部活動の在り方に関するプロジェクトチーム提言 ～部活動でチャレンジする子どもたちを応援します～

自由民主党政務調査会  
文部科学部会  
部会長 水落 敏栄  
部会長代理 上野 通子  
部活動の在り方に関するプロジェクトチーム  
座長 藺浦 健太郎  
事務局長 石井 浩郎

## はじめに

- 学校における部活動は、子どもたちに自主的・自発的にスポーツ、文化芸術、科学等に親しませ、学ぶ意欲、挑戦する心と体、人間関係づくりなど、子どもたちの生きる力をはぐくむうえで重要な役割を果たしています。  
部活動で学んだり、経験したことが、生活の豊かさにつながったり、子どもたちのスポーツ、科学技術、文化芸術等での才能を開花させてトップアスリート、優れた芸術家、研究者への道を開いたり、大人となってからの仕事や人間関係づくりの糧となっていたりと様々な成果、影響をおよぼしており、わが国や社会の活力、成長力の源ともいえます。
- 残念ながら、昨年、部活動での体罰を背景として高校生が自殺するとの痛ましい事態が発生しました。  
本プロジェクトチームでは、このようなことが二度と起きないようにするとともに、部活動が、どの子どもたちにとってもチャレンジの場となるよう、学校現場で熱心に指導を行っている方々からのヒアリングも行いつつ、6回にわたって活発に議論を重ねてきました。  
それにより、部活動が、顧問の教員等の熱心な取り組みにより、学校教育の中でも長い時間をかけて行われ、重要な役割を果たしているにもかかわらず、学校教育における位置づけ、指導の在り方や体制、指導者の努力に報いる評価・処遇、部活動の充実のための経費確保、日頃の練習成果の発表の場などで課題があり、それらにかかる国において取り組みが望まれる支援方策について4つの提言として取りまとめましたので、今後、政府、与党の取り組みにより実現していくことを期待します。

## 部活動の充実に向けた4つの提言

### (1) 部活動の位置づけの明確化

○部活動の円滑な実施・充実に資するよう、学校における状況等も踏まえながら、学習指導要領上の位置づけの一層の明確化を検討する。

### (2) 部活動指導者の資質向上への支援

○顧問の教員が適切な運営や指導の方法を身につける機会の充実。

○地域の優れた指導者、各分野の第一人者、研究者など、外部人材の参画を拡大。

#### <顧問の教員の資質向上、体罰の根絶>

○部活動に関する研修の企画運営者、講師を育成する全国的な研修を充実。

○顧問の教員が適切な指導の方法等を学ぶことができる研修の充実を支援。

○体罰等により子どもたちのチャレンジが挫折しないよう、運動部活動での指導のガイドラインを作成し、体罰等の根絶を徹底。

○教員採用に当たって、スポーツや文化活動も含めて総合的に評価する人物重視の選考、特に秀でた技能・実績を有する者等に対する特別選考を推進。

○大学等による部活動の指導の方法等にかかる研究の推進、研究成果の部活動関係者への提供の取組を支援。

#### <部活動への外部指導者等の協力確保等>

○第一線で活躍する者や研究者等が部活動で指導する機会の充実を支援。

○関係団体等が開催する、外部指導者向けの研修の機会の充実を支援。

○部活動で外部指導者等が効果的に指導する事例を収集、提供。

### (3) 子どもたちのチャレンジを推進する部活動づくりへの支援、指導者の努力に報いる評価、処遇の確保

○指導者の熱意と努力に報いることとなる適切な処遇を確保。

○顧問の教員の指導上の負担や生徒の経費負担等を軽減。

○子どもたちがチャレンジできる、部活動をはじめとした多様な活動の場を充実。

#### <部活動の指導者の適切な評価、処遇の確保>

○努力する顧問の教員に報いるため、指導手当などの倍増。（部活動手当 2,400 円⇒4,800 円に）

○部活動の優れた指導者を表彰。

#### <部活動の充実、負担軽減に向けた支援>

○部活動の運営等での工夫、特色ある取組を支援。（少子化等に対応した複数の学校の合同による部活動の実施など）

○外部指導者等の派遣の取組や外部指導者等の配置、活用の取組を支援。（総合型地域スポーツクラブの活用等）

○必要な用具、楽器等が確保されるよう、「地域・社会や産業界等が提供できる支援」と「学校が望む部活動に関する支援」をマッチングできるポータルサイトの活用を促進。

○科学技術振興機構（JST）が行う中・高校生の科学部活動の支援を充実、事業を広く周知。

○高校生を外国に派遣して行う国際文化交流を推進。

#### <各地域での子どもたちの多様な活動の場づくり>

○総合型地域スポーツクラブの拡大、部活動との連携の促進を支援し、各地域での子どもたちの多様な興味関心に応じた活動の場を充実。

#### (4) 練習成果の発表の場の拡充

○日頃の練習、研究の取組を発揮できる場、切磋琢磨できる場を充実。

- 全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会（インターハイ）開催に対して継続的に支援。
- 科学好きの中・高校生の切磋琢磨の場である「科学の甲子園」や「科学の甲子園ジュニア」等への参加を促進。
- 全国高等学校総合文化祭を継続的に実施するとともに、展示部門の優秀作品展を新たに実施。